

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第106号(通算)

令和5年6月9日(金)発行

明日は、文化祭です。久しぶりに、入場制限を行わない文化祭が帰ってきます。新型コロナ感染症の世界的な感染拡大のため、これまで多くの学校行事も制限や制約が行われ、中止になることも多かったです。今年からは、新しい生活スタイル、これまでとは異なる形での学校行事改革を目指しています。感染防止策をちゃんと行いながら、正しく恐れる。高校生活はこれからドンドン変化していきます。皆さんの笑顔が見られることを楽しみに、行事改革を行って行きましょう。



かわなべ森のマルシェ

令和5年5月28日(日)

晴天で気温もグングン上昇し、蒸し暑いなか、マル川建設の敷地内で**かわなべ森のマルシェ**が開催されました。地産地消にこだわった地元産の色々なものがマルシェでは販売されていました。その会場の特設ステージで、書道部の皆さんの書道部パフォーマンスが行われ、今回も素晴らしい作品が完成していました。



高校音楽祭

令和5年5月31日(水)

5月31日と6月1日の二日間にわたって、県内の高校の各団体が参加して行われる高校音楽祭は、合唱や和太鼓に、オーケストラ、吹奏楽と多彩な音楽が聴ける大会です。今回は、初日に川辺高校音楽部と薩南工業吹奏楽部の合同演奏として出演しました。



また、最後は、南薩地区合同バンドの委嘱曲を総勢120名の初演で演奏してきました。



【かごしま総文2023で演奏予定】

校長の美術館巡り

令和5年5月中旬

今年の5月には東京の美術館を何カ所か訪問してきました。今回も、ゆったりとした時間を過ごせる芸術鑑賞ということで、東京の美術館散策を紹介します。

① パナソニック汐留美術館 (東京・汐留)



パナソニック東京汐留ビルの4階にある汐留美術館。汐留というビジネスがのオフィスビルの中にある美術館ですが、中に入ると雰囲気ガラリと変わり、作品に集中できます。今回は、ジョルジュ・ルオー展が開催されていました。基本的に美術館は撮影禁止のところが多いのですが、最後のコーナーが撮影可能でしたので、いくつか作品を紹介します。



② 相田みつを美術館

(東京・丸の内)

東京駅のすぐ近くの東京国際フォーラムの地下一階に禅をベースにおき、旧制中学校卒業後より在家のまま道元禅師(曹洞宗の開祖)の正法眼蔵(しょうほうげんそう)を学んだ相田みつを。その人生と作品の根底には道元禅師の教えが深く刻まれていると美術館の説明書きがありました。

味わい深い彼の言葉、文字に沢山触れることが出来てとても幸せな時間を過ごすことが出来ました。



正統派の書道家としてスタートしたみつをですが、ただ綺麗な文字を書くだけでは人を感動させられないと疑問を抱くようになり、自分の言葉にあった独自の書体を生み出すようになったそうです。みつをの詩や書

を見る時、心にしみこむのはこのような彼の思いのおかげなのかもしれません。



【余談】この日、東京フォーラムでは世界天才会議?が開催されており、ドクター中松を生で見ることが出来ました。